

社協シンボルマーク

社協 ひこね

【第152号】

平成22年2月1日発行

編集と発行

社会福祉法人
彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670
TEL 22-2821 FAX 22-2841



この広報紙の一部は、赤い羽根共同募金の
配分金やみなさまからの会費で作成してい
ます。



▲絵本の読み聞かせを行う「ひこね児童図書研究グループ」＝彦根市立図書館で

「絵本」の楽しさを多くの人へ伝えたい

ひこね児童図書研究グループは、市立図書館を中心に、子どもたちへの絵本・紙芝居の読み聞かせ、パネルシアターなどの活動を行っており、活動歴30年のベテランボランティアグループです。

「いい絵本は文字が無くてもストーリーが分かります。また、言葉の宝庫でもあり、子どもだけでなく、ぜひ大人にも読んでほしい」と代表の松岡さんはお話されています。

現在の主流であるテレビやアニメーションは、「一方通行の提供」であることが多く、ページをめくることで新しい世界が拓ける絵本は、自分の中の「想像（創造）力」をどんどん膨らませることができるものなのではないでしょうか。

★トピックス★

- ①災害ボランティア養成講座
特別寄稿
大阪大学大学院 渥美准教授
(詳細：2ページ)
- ②企業が取り組む地域貢献
滋賀ダイハツ販売㈱彦根店
(詳細：5ページ)

視覚障がいのある方に向け、点字版、音訳（テープ録音）による「社協ひこね」を発行しています。ご希望の方はご連絡ください。

災害ボランティア養成講座 特別寄稿

防災と『言う』『言わない』
防災活動

地域では、自主防災組織をはじめ多くの皆さんが防災活動を行っておられます。防災を目的に掲げて、防災と銘打って活動をされますから、こうした活動を「**防災と言う防災活動**」と呼びましょう。参加されている皆さんはとても熱心に活動されています。ただ、現状を見ますと、実は、いつも同じ顔ぶれだったりしないでしょうか。

参加があってもよさそうです。防災活動の日程や内容についてはわかりやすく広報されますから、もっと様々な方々にお越し頂けそうです。しかし、参加者が増えません。

防災活動に参加されない人たちも、防災の重要性は百も承知されていると思います。活動の日程や内容もご存じです。そして、他の活動であれば、ずいぶん積極的に活動されておられる方々も多いと思います。こう

大阪大学大学院 人間科学研究科

准教授 渥美 公秀さん



Profile

あつみ・ともひで

NPO日本災害救援ボランティアネットワーク理事長。
阪神・淡路大震災の被災者でもあり、昨年の防府市・佐用町水害など、自らも災害支援活動に携わる。
主な著書に「地震イツモノート」（木楽舎刊）などがある。

した皆さんに防災活動に参加して頂くにはどうすればよいでしょうか？

ここで発想を変えてみましょう。これまでの防災活動のように「防災」を前面に出さずに、楽しく参加しやすい活動を準備します。そこに参加していると知らず知らずのうちに防災が身につくという仕掛けです。防災を前面に出さないで、しかし、実際は防災に結びつく活動を「**防災と言わない防災活動**」と呼びましょう。

「防災と言わない防災活動」の一例として、NPO法人日本災害救援ボランティアネットワークが開発し、日本損害保険協会、朝日新聞社などの支援を得て各地で実施されている「わが街再発見ぼうさい探検隊」を紹介します。

このプログラムは、子どもたちがグループになって、地域を「探検」し、防災関連の施設を「発見」して、地図にまとめるというものです。

例えば、備蓄倉庫では、自治会の人から説明を聞いたり、写真を撮ったり、インタビューをしたりします。その結果を模造紙一枚の地図にまとめます。

できあがった地図は、年一回開催されている「マップコンク

ール」に提出し、審査を受けることもできます。ユニークな地図には、毎年、賞が贈られています。

さて、この行事を通して、防災を学ぶのは誰でしょうか？もちろん、参加した子どもたちは、防災を学びます。しかし、さらに重要な学び手があります。それは、手伝って下さる大人たちです。なぜなら、このプログラムには、事前準備が欠かせないからです。

子どもたちが備蓄倉庫を訪れるのであれば、大人たちが、事前に地域をまわり、自治会の人たちに挨拶し、趣旨を説明して了解を取り付けておく必要があります。

実は、大人たちは、この過程を通して、防災施設を見学し、担当者に会い、地域の防災を学んでしまっているのです。防災と言わないで、子どものための準備をしている間に、防災が身につくという仕掛けになっています。

大人たちの中には、日頃、防災活動に参加してくださらない人たちも含まれていると思います。皆さんの地域でも「防災と言わない防災活動」で、より多くの多様な参加者を募ってみてはいかがでしょうか？

心のバリアフリー推進事業

この事業は、赤い羽根共同募金の配分を受け実施しています。



▲アイマスクをかけながら食事体験をする参加者＝亀山学区社協

事業解説

この事業は、視覚または聴覚に障がいのある方と住民が行動をともにし、互いに理解を深めるため、彦根市社会福祉協議会と各学区（地区）社会福祉協議会が協働で行っている取り組みです。

「気づき」から新たな一歩

今まで持っていたイメージとの違いを改めて知り、障がいのある方を正しく理解すること、**「自分たちができること」**を考えてもらうことを目的とし、今年度も「彦根市視覚障

害者協会」、「ガイドヘルパーウォーキング会」、「手話サークル指音（しおん）」に協力いただきながら、この1月15日までに視覚障がい編3回、聴覚障がい編2回を実施しました。

視覚障がいの体験では、学区（地区）社会福祉協議会の発案で、生活に密着した体験にするため、お盆におわんやお皿を乗せ、アイマスクをかけながら場所を探り当てる「食事体験」も行いました。

接する機会「ない」約7割

だから社協は取り組みます。

今回、活動終了後にアンケートを実施したところ、「日常生活のなかで、障がいのある方に接する機会がありますか」の質問に約7割の方が「ない」と答えられました。（右下グラフ）

交流・意見交換を通して、参加者からは「自分ができることがあれば手助けしたい」という声も聞かれ、これまでは当事者の思いや困りごとを知る機会になかなか恵まれず、どうしていいのかわからなかったということもあったようです。

しかし、ふれあうことで「何気ない声かけ」など、誰にでもできることがたくさんあることを知っていただけたのではないのでしょうか。彦根市社協は今後も出会いと気づきの場づくりに取り組んでいきたいと思っています。

参加者アンケートから

視覚障がい編

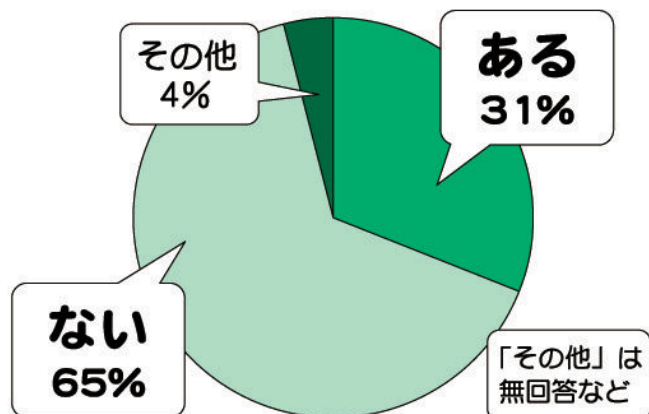
- 自分が全盲の経験をして、改めて大変なことが分かりました。みんながまず経験することが大切だと思います。
- 頭の中では分かっていたつもりでしたが、いろいろと行動したり話を聞いて、何も分かっていないことに気づかされました。

聴覚障がい編

- 日常生活で苦労されていることが多々あるということを知りびっくりしましたが、もし近くに障がいのある方が居れば、ぜひ手助けしたいと思います。
- 今回を通じて、おかげさまでもう少し広く人の心を理解する機会をいただきました。

Q. 日常生活のなかで、「障がいのある方」と接することはありますか。

（回答者：110名 ある：34名 ない：71名 その他：5名）





安心して子育てができる地域づくりを

人々のライフスタイルは変化し続け、各家庭では昔ながらの三世帯家族が少なくなってきました。

彦根市でも核家族化は進み、身近に相談できる人が居ないなど地域のつながりが希薄化しています。

そうした中、彦根市社会福祉協議会では、今年度、子育て中の保護者や子どもたちを地域で見守る機会や体制作りを目的に学区（地区）社会福祉協議会単位で「子育て支援懇談会」を計画しました。

地域で見守る子育て

昨年10月25日（日）の午後、亀山子ども会指導者の会主催による「子どもと親と地域みんなの集い」

が開催されました。

この集いは、亀山小学校の全校児童の約半数を占める亀山・清崎・房田ニュータウンの子どもたちが地域の方とふれあう中で、つながりを深めることを目的に開催されました。

当日は、前半に子育て中の保護者を対象に、彦根市社会福祉協議会主催による講演と懇談会を、後半は亀山子ども会指導者の会と亀山学区社会福祉協議会・亀山学区民生委員・児童委員協議会が協力し、乳幼児には紙芝居、小学生には体を使った遊びと餅つき大会を実施されました。



▲廣田さんの講義を受ける参加者＝亀山NTⅢ期集会所（亀さんハウス：清崎町）

参加者の意見

- ・親も子も集まる場所があれば、顔見知りもできていいと思う。
- ・今日の話を聞いて、できるかぎり時間を取って子どもと接していきたい。
- ・今日のように、話を聞いてもらえる機会があればいいと感じた。

前半のテーマである、“地域で安心の子育て”では、子育て研究所・ラポール代表の廣田幸子さんの講演の後、

①安心して子育てするためには
②安心して地域で暮らすためには
についてグループに分かれて討議していただきました。

“地域で安心の子育て”についての話し合いが、いつしか子育ての愚痴・悩みを聞いてもらう場に変わっていき、子育ての先輩のアドバイスをいただきながら、活発な意見が交わられていました。

その後、懇談会で出された意見をグループごとに発表いただき、情報の共有化を図りました。

今後に向けて

この事業を通して、子育てが、地域の方に見守られている事を再確認していただき、保護者同士の交流の場の大切さや必要性についても気づいていただけたように思いました。

このような気づきの場として、“子育て懇談会”を小さな単位で実施していけるように、各学区（地区）社会福祉協議会や地域へ今後も働きかけを行っていききたいと思っています。



▲後半はグループに分かれ、参加者同士で話し合いました。

地域づくり
実践

企業が取り組む地域貢献

「できることから始めたい」

滋賀ダイハツ販売(株)彦根店

地蔵町にある滋賀ダイハツ販売(株)彦根店(以下、「ダイハツ」)では、自社で廃棄するペットボトルキャップの回収に取り組みられています。

きっかけは、本会が発行する広報紙「社協ひこね」をスタッフの1人が目にされ、今までお客様へ提供した後、廃棄していた飲み物のボトルキャップを利用し、「う

取り組みについてお話をいただいた、スタッフの阪東さん(右)と草野さん(左)



▲お客様あてに作成された、回収協力依頼のメッセージカード

ちの店でも回収に取り組みでみたらどうだろう」という一言から始まったそうです。

また、来店されるお客様にも回収の協力をお願いするため、ダイハツのコンセプトである「気軽に立ち寄れ、くつろげる店舗」のイメージに合わせ、オシャレなメッセージカード(右写真)を作成されました。その効果もあって来店されるお客様がボトルキャップを持参されることが徐々に増えてきたそうです。

先般、回収したボトルキャップを社会就労センターひこねへ引き渡され、企業と福祉施設という新たなつながりづくりになりました。

今後は、さらに多くの方々に協力いただくための企画も考えられており、スタッフの阪東さんは「少しでも地域のために貢献できれば」と意気込んでおられます。

参加費無料
事前申込必要

丸紅基金社会福祉助成事業

『介護家族のためのカフェ
そよかせコンサート』

エレクトーンやハンドベル、小物楽器を織り交ぜながら、音楽を通して地域の交流、子育て支援を行うボランティアグループ「音の宅配便“そよかせ”」がコンサートを開催！

- 日 時：平成22年3月6日(土)
13:00~15:00
- 場 所：ビバシティホール
(彦根市竹ヶ鼻町ビバシティ内)
- 内 容：1) お茶とお菓子で交流会
2) 音の宅配便“そよかせ”コンサート
- 対 象：彦根市・愛知郡・犬上郡にお住まいで、介護サービスを利用されている方のご家族様(お子様はご遠慮願います。)
- 定 員：80名(申込順)
- 参加費：無料
- 受付締切：平成22年2月26日(金)
- 申込・問合せ先
音の宅配便“そよかせ” かわしま 河島 和子
電話・FAX 0749-22-5048
※氏名・電話番号・利用事業所をお知らせください。

彦根市ボランティア連絡協議会
厚生労働大臣表彰を受賞！

平成元年2月に設立され、ボランティア会員相互の活動を推進するなど、20年あまりの間、地道に活動してこられた彦根市ボランティア連絡協議会が、この度その功績を讃えられ、厚生労働大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます。



▲表彰状の伝達を受ける、彦根市ボランティア連絡協議会の仁木会長(右)

お知らせ 出会い ふれあい 支え合い

民生委員
児童委員
の活動

城西二民児協

◎城西学区 第7回「春のつどい」開催 平成22年3月6日(土)

受付 12時30分 開始13時

場所 城西小学校体育館

城西学区恒例の行事となりました「春のつどい」、楽しみにされていることでしょう。

地域にお住まいのおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、子どもたちとの交流の輪を拡げ、いろいろな遊び、ゲームを楽しんでください。

高齢者コーナーもあり、介護用品、健康相談もハピネス職員がお手伝いします。

城西学区連合自治会

城西学区社会福祉協議会

共催

【本件担当】小倉(自宅) TEL 22-9174

鳥居本民児協

◎すくすく・のびのび教室

日時 第2金曜日 午前10時

場所 鳥居本公民館

対象 0才からの未就学児と母親

子ども未来室主催

の子育て支援グループです。

民生委員がスタッフとして2名

協力しています。

鳥居本は人数も少なく

「すくすく・のびのび」

合同で行なっています。

多数ご参加ください。

【本件担当】尾原(自宅) TEL 22-4498



城陽民児協

◎こんな行事を、毎年行っています。

「楽しい親子ハイキング」高齢者の方へは

「健康講座、折り紙、合唱」等

昨年9月末、わが民児協

主催の親子ふれあいハイキ

ングで養老天命反転地へ!

残暑が厳しい日でしたが、



皆で楽しく遊びました。

今年の計画は? お楽しみに!

さて、昨年9月、午前6時半。住宅地内の我家の隣を、

一頭の大きな猪が、走り去りました。予告も

なしに、いどこへ出没するか? 皆様もど

うか御用心を!

【本件担当】馬場(自宅) TEL 28-1420



子宮がんには、発生場所により子宮頸がんと子宮体がんの2種類があります。

子宮がん全体は7割を占めるのが子宮頸がんです。子宮頸がんは30〜40歳代に多いですが、近年20歳代の増加が目立ちます。原因はヒトパピローマウイルス感染で、初期症状はなく、進行すると月経とは無関係な出血などが見られます。子宮頸がんは非常にゆっくり増殖しますので、早期発見しやすいがんであり、一般的に言われる子宮がん検診は子宮頸がん検診になります。検診では子宮の入口付近の細胞を綿棒などでこすり取るだけの簡単なもので、痛

保健師からのメッセージ 65

がんも生活習慣病です。

がんを予防しよう!

～あなたとあなたの大切な人のために

がん検診を受けましょう～

「子宮がんの病態と予防について」



ひこね元気計画21
マスコットキャラクター
コンキーン

食物繊維たっぷりメニュー

根菜のきのこ汁

1人分

エネルギー 60kcal 脂質 2.4g
たんぱく質 3.3g 塩分 1.3g

◎材料(2人分)

だいこん 30g
にんじん 20g
ごぼう 30g
干し椎茸 1枚
かぶ 1個
油揚げ 1/2枚
なめこ 1/2パック
だし汁 2カップ
昆布 1g
しょうゆ 大さじ1
塩 少々
おろししょうが 少々

◎作り方

①だいこん、にんじんはいちょう切りにする。ごぼうは斜め薄切りにして水に一度さらす。干し椎茸は水で戻し、薄くスライスする。かぶの根は放射線状に切り、かぶの葉は4cmの長さに切る。油揚げは熱湯を回しかけ、油抜きして短冊切りにする。なめこはぬるま湯で洗って水気を切っておく。

②なべにだし汁を入れ、昆布ははさみで1cm角に切って入れ、火にかける。だいこん、にんじん、ごぼう、椎茸を入れてしばらく煮る。かぶ(根と葉)と油揚げを加え、かぶに火が通ったら、なめこを加えて、しょうゆ・塩で調味する。

③器に盛り、おろししょうがを添える。

ポイント

旬の野菜や好みの野菜を入れて、季節ごとの味を楽しみましょう。

彦根に住めば元気になる『ひこね元気計画21』



*うす味を心がけましょう
*週一回以上のウォーキングや運動をしましょう

*あぐらものの振り過ぎや食べ過ぎに注意しましょう

善意銀行預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額(円)
パーラー一番彦根駅前店お客様一同(10月分)	1,126円
パーラー一番彦根駅前店お客様一同(11月分)	434円
イチバン本店お客様一同(10月分)	13,119円
イチバン本店お客様一同(11月分)	13,942円
㈱ボンフリー	15,000円
ミッキーハウスP2	5,000円
人形劇「ゼロの会」	15,000円
ベジダイニング	3,000円
ハートイン彦根	2,317円
彦根山草会(彦根学園へ指定寄付)	50,000円
ICHI-BAN南彦根店Pzoneお客様一同	2,580円
ICHI-BAN南彦根店Szoneお客様一同	201円
ボランティア地蔵	4,073円
中島商事㈱大阪ガスサービスショッパナカジマ	20,800円
直	10,000円
匿名	100,000円

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品目
馬場元弘	未使用テレカ
彦根市人権教育課	はがき
辻堂町老人会	下着類
北川 悟	はがき
匿名	下着類
匿名	紙おむつ

外国籍住民の方へ

お米、パスタ、マカロニグラタン、紅茶

匿名(4名)

善意銀行からのお願い

- ①古切手・使用済みテレホンカード・ベルマーク・ロータスクーポンをお持ちいただく際に、分別についてご協力をお願いします。
- ②広報紙「社協ひこね」の点訳・音訳、また、預託者のお名前・社名等を公表するにあたり、下記のことにご協力ください。
- 1) お名前・社名等は必ず『フリガナ』の記入をお願いいたします。
 - 2) 公表することにご了承いただける場合は、お名前等をはっきり明記してください。
- 特に意思表示のない場合は、記載させていただきます。—

あたたかい思いやり
ありがとうございました。

お問い合わせ先▶彦根市社会福祉協議会 彦根善意銀行 ☎22-2821

平成21年11月1日~12月30日

〈古切手、使用済みテレホンカード〉(敬称略)

△佐藤雄蔵 △彦根市下水道部管理課 △㈱ワールドプラン彦根営業所 △NPOぽぽハウス △ヨガスタジオ結坐(ユフザ) △㈱北川化成 △㈱藤塚時計店 △上後三条町芹流会 △夏原工業 △㈱T&R △㈱光田産業 △みずほ文化センター △稲枝社会福祉協議会 △白石まさの △みおつくし △彦根市市民課 △彦根市教育委員会文化振興室 △デイホームぶどう △普光寺町さんさん会 △彦根工業高校定時制生徒会 △彦根市人権教育課 △彦根市障害者福祉センター △城陽幼稚園 △むとう歯科医院患者様、スタッフ一同 △彦根市ふたばデイサービスセンター △木下恵美子 △㈱スリーテック △下後三条町シニアクラブ寿楽会 △彦根市訪問看護ステーション △久保田 △彦根市身体障害者更生会 △望月優好 △彦根市赤十字奉仕団 △㈱川地工務店 △松井貞男 △清水工業㈱ △高宮町和楽会女性部 △川崎惣吉 △㈱高木造園 △松下電工定年退職者グループ松寿会 △八月十六 △彦根市精神障害者家族会「集まろう会」 △松本義夫 △浅井久之 △要約筆記サークルキャロット △上田繁子 △市内T.I △辻堂町老人会 △柳本 寛 △彦根市生活環境課生活廃棄物対策係 △栄町二丁目栄寿会 △㈱長組 △彦根地域勤労者互助会 △相互自工㈱ △シルバー人材センター △霜田弘一 △西今福寿会一同 △蔵の友の会 △城南保育園 △北デイサービスセンター △匿名(1件)

〈ベルマーク・ロータスクーポン〉(敬称略)

△樋口静香 △彦根市ふたばデイサービスセンター △NPOぽぽハウス △上後三条町芹流会 △白石まさの △みおつくし △普光寺町さんさん会 △彦根工業高校定時制生徒会 △望月優好 △㈱川地工務店 △中西寿枝 △浅井久之 △辻堂町老人会 △柳本 寛 △蔵の友の会

◆南老人福祉センターからのお知らせ◆ ※市内在住で60歳以上が対象です。

【講座等募集】

講座名等	期 日	時 間	定員	参加費	内 容	応募締切日
介護講座	3月2日(火)	AM 9:30 ~ AM11:30	25名	無料	元気で長生きをめざして、体力の維持・増進を図りましょう。	2月19日(金) ※運動制限のない方
カロム大会 ②	3月5日(金)		30名		グループやお1人でも参加いただけます。(彦根カロムのルールで行います。)	2月22日(月)

【クラブ員募集中】 ☆心身の健康が一番! まず、参加しましょう!! ☆

講座名等	期 日	時 間	参 加 費	備 考
いきいき体操 さわやかクラブ	毎週木曜日	PM1:30 ~ PM3:30	無料	今年度の「いきいき講座」修了生を中心に発足しました。体力の維持・増進と、心の健康のため楽しい集いも計画しています。
社交ダンス	毎月第1・2・4 金曜		1回/1,000円	まずお越しください。気分爽快!! いっしょに楽しみましょう。

①受講希望の方はハガキ(FAX可)に、希望講座名、住所、氏名、電話番号を明記し下記までお申し込みください。

②応募者多数の場合は抽選の上、結果をハガキ等で通知します。

③その他、詳しい事につきましては電話等でお問い合わせください。

彦根市南老人福祉センター 〒521-1105 彦根市田原町13-2 TEL43-6700 FAX43-6711

問題を解決するための「最初」の窓口

よろず相談

場 所

彦根市福祉保健センター
別館2階 相談室
(彦根市平田町670)

開所日

毎週水・金曜日
午後1時～4時 (予約不要)
※ただし、祝日の場合は開設
しません。



電話による相談もできます
22-2821

相談できる内容

友人関係、家族、生計の問題など困りごと全般

相談料

無料

個人情報保護法の施行に伴い、相談内容を「相談記録簿に残すこと」に同意いただける方のみ、相談に応じますのでご注意ください。

※秘密は厳守し、本人の同意のない限り外部に提供することはありません。

貸衣装 NEWS どうぞご利用ください。

彦根市社会福祉協議会では、冠婚葬祭用衣裳の貸し出しを行っています。常時、下表の商品を取り揃え、みなさんのお越しをお待ちしております。

なお、この事業で得た収益は、社協が推進する地域福祉活動に広く活用しています。

品 目	貸 出 料 金
留袖	3,000円～18,000円
訪問着、付下げ	15,000円
振袖	25,000円～30,000円
初着	5,000円～7,000円
喪服	3,000円～5,000円
紋服	6,000円～10,000円
略礼服	3,000円
モーニング	4,000円～5,000円
ブラックフォーマル	5,000円
パーティードレス	3,000円～8,000円
フォーマルジャケット	1,500円～6,000円
ゲストドレス	3,000円～8,000円
男児スーツ	3,000円
女児ドレス	1,300円～3,000円

(貸出料金には、消費税を含んでおります。)

その他、タキシード、女児シューズ、小物・アクセサリ、バッグ等の貸し出しも行っています。

【場 所】彦根市福祉保健センター(彦根市平田町670)
別館 1 階 貸衣装室

【営業時間】月～金曜日8:30～17:15(ただし、祝日は除く)

【お問い合わせ】彦根市社会福祉協議会 電話：22-2821

大好評!

社協クイズ 107

問 題

〇〇と「言う」〇〇活動。〇〇と「言わない」〇〇活動。〇の中に入る言葉は?

応募方法

はがきに、①クイズの答え、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢、⑤電話番号、⑥今月号の感想やまちのほっとな話題等をご記入のうえ、平成22年2月26日(金)(当日消印有効)までに〒522-0041 彦根市平田町 670 彦根市社協「社協ひこね」クイズ係 までご応募ください。
抽選で5名様に“ふくしの店”からすてきなプレゼントを差し上げます。

いつもたくさんのご応募ありがとうございます。
前回おしくも当選を逃された方、今回はがんばって!

前回(12月1日号)の答え

あったかい でした。

当選おめでとうございます♪

赤田 勝久さん 川田 晃さん 北川 慶子さん
近藤 友子さん 田沢 利江さん

読者のみなさんからご提供いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送・ご質問に対する回答など、今後の地域福祉活動の参考にさせていただきます。他の目的には、使用いたしません。

☆あなたのまちの「ほっとな話題」をぜひ教えてください。身近な地域が取りあげられるチャンス!